

札幌の障がい者就労支援の最前線をお伝えする

さっぽナポ



札幌市自立支援協議会就労支援推進部会
発行日:平成31年3月31日

定例会

毎年度の定例会に始まり、各種研修等30年度の当部会の活動も無事終了することができました。これもひとえに各チーム、部会構成員の皆様方のご協力があってのものと改めて感謝申し上げます。

さて、30年度の研修の中でも取り上げられました定着支援が始まり、事業を展開している事業所も少しづつ増え



てまいりました。当初、就労加算であったものが一つの事業として個別給付化されたことは大きな前進のように見えます。しかし、個別給付化されることで、給付の対象になるようにその対象者に働きかけ、その人が本来必要とはしていないサービスを作り出してしまうという大きなデメリットもあります。それは、支援者がニーズを掘り

起こすのではなく、ニーズであるかのように障がいのある方に働きかけ、それを対象者がニーズだと思い、それによって事業所が利益を得る、という循環に陥ってしまうというものです。今後さまざまな事業所が増え、市場原理が過剰になると、「結果が良ければそれでよい」という社会福祉の考え方とは異なる考え方方が多数を占めることになってきます。本来、障がいのある方の就労支援は社会福祉を基本とするものであり、それに携わる支援員は社会の一構成員としてその社会に置いて社会福祉を展開する責務があると思います。時代が流れ動く中、自分たち自身がどのような考え方のもとで社会福祉を展開していくかという掘り下げた思考のあり方が今後は求められているのではないでしょうか。平成31年度も当部会の活動にご協力賜る事をお願い申し上げます。

文／重泉

年間日程

4月 ◆就労支援推進部会定例会

7月 ◆障がい者在宅就業セミナー

10月 ◆JC-NETジョブコーチ実践フォーラム

11月

◆発達障がいの傾向がある大学生・専門学校生就労支援ワークショップ
◆職業能力開発スタッフ研修

12月

◆障がい者支援員養成研修-障がいのある方の支援の基礎を学ぶ レベル1

2月

◆さぽコン

在宅就業セミナー

平成30年7月30日に就労支援推進部会研修チーム主催で『障がい者在宅就業セミナー』をWEST19にて開催しました。

首都圏などを中心にお住まいの方々が在宅就業を実施されている株式会社I.I.Jエンジニアリングより担当課長の齋藤恵理子氏、株式会社リクルートオフィスサポートより担当室長の榎本智幸氏の2名をお招きして、それぞれの在宅就業の実施までの経緯や取り組み内容、すでに雇用している中での現状や課題などもお話し頂きました。その後、シンポジウム形式でお二方にもご登壇いただき、コーディネーターの進行のもと、講演では聞けなかった細かい部分まで質問がよせられました。

参加された就労支援機関の方々、企業のご担当、障がい当事者など45名が興味深く講演やシンポジウムに耳を傾け、シンポジウムでは会場からも質問が出ていました。札幌では在宅就業の事例は少ないのが実情ですが、このような事例を参考に、雇用機会の拡大につながればと思う内容でした。

文／内久保

職業能力開発スタッフ研修

平成30年11月20日、21日に北海道経済部労働政策局からの依頼を受け、北海道本庁舎にて『職業能力開発スタッフ研修-発達・知的・精神障がいに配慮した支援と対応-』を開催しました。受講者は、道内の高等技術専門学院・職業能力開発校の先生方、約20名です。

20日は、講義形式にて4障害の基礎知識と関係機関について、21日は事前アンケートより抜粋した困難事例をもとにグループワークと障害者職業センターのワークサンプルMWSを活用し具体的な支援方法を学びました。感想では「相談できる関係機関を知った」「長期的な関わり方を学んだ」「本人の気持ちや考えに沿った対応」など好評を頂きました。



私自身も学校だからこそ出来る支援について、先生方から多くを学ばせて頂く貴重な機会となり大変感謝しております。

文／原田

事業所さんぽ 6歩目

●就労移行支援事業所 エールアライブ
札幌市東区北8条東1丁目3-7 大ビル1階
TEL : 011-788-7848/FAX : 011-788-7849
相談対応時間 平日10時～17時／土日祝休み

定員
20名



スタッフ

サービス管理責任者1名 常勤4名
非常勤4名（定着支援3名）

見学について
9:30～15:30の間で行つており、事前に連絡があるとスムーズに対応できるとのことでした。

作業内容

施設内作業の他、現在はポスティングや近くの米屋での精米補助やお弁当の集配作業、サッポロ・ミツバチ・プロジェクトの作業等、様々な施設外での作業も行っています。また職場実習にも取り組み、求人から事業所と相談することで、実際の職場での活動を多く行っています。

プログラム

SSTやアサーティブ、WRAPを通して、ご自身の課題の整理や働いていくことに対する意識作り、会社の中でのコミュニケーションについて学ぶ機会を多く設けています。また、ミーティングを行い利用される方が主体的に考え方を発言できるように支援しています。

メッセージ

働く価値を考えることを大事にしています。就職をゴールとするのではなく「自分がどんな働き方をしたいのか」「どんな人生を送りたいのか」といったご本人の思いを大切にし、「何か変わりたい」「こうなりたい」と一緒に探したいと考えています。

取材を通して

取材日はバザーのミーティングが行われており、参加者が中心となり意見が交わされていました。「自分で考え、選び、決める」を実践されている場を見学することができました。また、4月から就労定着支援事業（エールアドバンス）を開始されています。働く上の相談等を受け、3名体制で支援を行っているそうです。就職後の繋がりも大事にし、働くための支援から働いた後の支援まで細やかな支援が行われていることが感じられました。

文／佐藤・田村



お役立ち情報 ~支援に役立つ便利ツール~

就労支援を進める中で、「こういう障害の方はどんな所で働いているんだろう?」「会社の人に新しい仕事内容を提案したいけれど、上手く想像できない…」といった悩みを持つことはありませんか?そんな時に活用できるツールの一つとして、障害者雇用事例リファレンスサービスがあります。

このサービスは、全国の障害者雇用に取り組んでいる企業の好事例を紹介しているものです。業種や障害種別などから検索が可能で、様々な業界で力を発揮している障害者雇用の方の事例を見ることができます。基本的には、事業所

が障害者雇用を行う際に活用していただくことを目的にしていますが、支援者から見た時にも、支援の参考やヒントになるような情報が掲載されています。

高齢・障害・求職者雇用支援機構のホームページから無料でアクセスし閲覧できますので、事業所への支援の際には、ご活用いただければと思います。



QRコード 障害者雇用事例リファレンスサービス
<http://www.ref.jeed.or.jp/>
トップページ→障害者の雇用支援→関連情報
(ページ右下)からも飛ぶことができます。



札幌市情報

障がいのある方の就労事例集のホームページを公開しました



札幌市障がい福祉課における新たな取組として、札幌市公式ホームページ内に「障がいのある方の就労事例集」を公開しました。現在8名の方々のさまざまな働き方をご紹介しておりますので、是非ご覧ください。

また、随時新しい事例を募集しておりますので、応募についてもご検討ください。

さまざまな事例があることを知っていただき、誰もが活躍し輝き続けられる街、札幌を目指しましょう。



文／加藤

<http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/syurou/rolemodel/index.html>

(札幌市公式ホームページにて 障がい 就労事例

で検索してください。)



さぽコンについて

平成31年2月1日(金)、「さぽコン～若手支援者の意見を聴く会」を開催しました。今年は20代～50代と幅広い年齢層の方14名が参加、加えて昨年同様に過去の参加者にお願いをしてファシリテーターとして参加いただきました。就労支援の経験年数が3年未満の方に参加いただき、支援上の悩みや課題の中からテーマを抽出したりフリートークでの意見交換を実施しました。参加の動機は必ずしも積極的な動機というわけではなかった様ですが、いざ始まると活発な意見交換が行われており、参加した後は「勉強・参考・刺激になった」

「経験年数が近くて話しやすかった」「多職種での経験が豊富な人の話を聞いて良かった」などの意見をいただき、意見交換・交流を図る良い機会となったのではないかと感じました。さぽコンを機に横の繋がりをもっていただき、各自で情報交換を図る等、今後の就労支援のお役にたてれば幸いです。

文／北

